

(報道発表資料)

2026年5月28日

NTT東日本株式会社 宮城事業部

県内初！災害時双方向情報伝達システム「シン・オートコール」の 運用開始について

(要旨)

登米市とNTT東日本株式会社 宮城事業部（執行役員 宮城事業部長：須藤 博史、以下、NTT東日本）は、登米市内全域において、AI・クラウド技術を活用した「シン・オートコール」による災害時双方向情報伝達システムを導入し、本年7月より運用を開始します。※

災害時に高齢者や障がい者などの避難行動要支援者へ一斉に架電し、避難発令情報の伝達と安否確認を行うとともに、応答内容を避難支援等実施者へ伝達するものです。

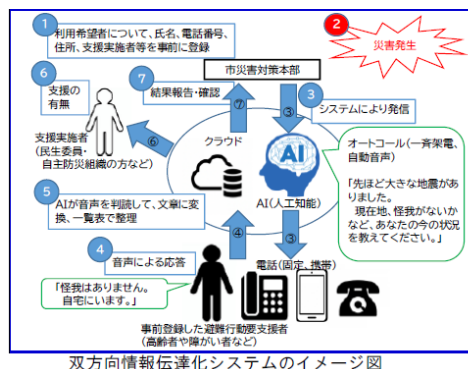
また、平時にはシステムの習熟と認知度の向上のため、定期的に通信テストを行うこととします。

本システムの基本的な機能は以下の通りです。

- ①避難行動要支援者の電話番号にAIによる自動音声で避難発令情報の伝達を行う。
- ②避難行動要支援者が電話の質問に答えることで安否の確認を行う。
- ③安否確認の結果を避難支援等実施者へSMSにより伝達する。

※「シン・オートコール」

AIによる音声読み上げや録音した肉声により、固定・携帯電話への一斉情報伝達が可能なソリューションです。（シン・オートコールの仕組みは下図のとおり）



つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ